

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成30年度第2回高松市国際交流推進協議会
開催日時	平成30年12月21日(金)午後1時30分～午後2時30分
開催場所	高松市役所11階 113会議室
議 題	(1) 台湾基隆市交流協定締結1周年記念事業の報告について (2) 中華台北パラリンピック委員会及びパラリンピアン招へい交流事業の報告について (3) トゥール市姉妹都市提携30周年記念事業の報告について (4) ドイツ ボン市との交流について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席者	<委員>稲井委員、岡田委員、塩田委員、小松委員、太良尾委員、時岡委員、徳田委員、平田委員、舟木委員、森委員 <オブザーバー> (公財) 高松市国際交流協会常務理事 <市>創造都市推進局長、文化・観光・スポーツ部長、観光交流課都市交流室(事務局)
傍聴者	0人 (定員 5名程度)
担当課及び連絡先	観光交流課 都市交流室 (Tel.839-2197)

審議経過及び審議結果
<p>議題(1)について</p> <p>事務局の説明に対し、下記の質問があった。</p> <p>○なぜ内閣官房参事官が、高松市の事業に注目しているのか。</p> <p>●高松市は、台湾を相手地域としたホストタウン及び共生社会ホストタウンに登録されている。今回、基隆市との交流協定締結1周年記念事業の開催にあわせて、台湾からパラリンピアンを招へいし、交流事業を実施した。内閣府でも本市の取組を発表しており、非常に積極的な取組をしている自治体として、国から注目をされている。</p> <p>議題(2)について</p> <p>事務局の説明に対し、下記の質問があった。</p> <p>○パラリンピアンとパラアスリートの違いは何か。</p> <p>●パラリンピアンとは、過去にパラリンピックに出場したことがある選手又は出場する選手のこと。パラアスリートとは、パラリンピックには出場したことがない選手のこと。</p>

議題(3)について

事務局の説明に対し、下記の質問があった。

○学校給食を通じてトゥール市の紹介をしたとのことだが、私には小学生と中学生の娘がいるが、このことは家庭で話題に上らなかった。家庭で話ができるような話題作りはできているのか。

○高松市の給食のメニューをトゥール市に報告し、トゥール市においてもこのような取組を促して欲しい。

●高松市・トゥール市姉妹都市提携30周年記念ということで、小中学校で配布する献立表で農業国であるフランスの紹介をした。学校給食の担当者からは、今後もこのような取組を続けていきたいという要望があり、対応する予定である。このほかにも、姉妹・友好都市のことを学習する小学4年生を対象に、姉妹・友好都市を紹介するパンフレットを配布している。

○今回来高したトゥール市訪問団と地元で偶然遭遇し、交流した。第一副市長がトゥール市から来高していることを地元の多くのお年寄りが新聞の記事を見て知っており、交流できたことを非常に喜んでいた。市の広報だけでなく、メディアを上手に利用してPRすることが有効かと思う。

○高松市国際交流推進協議会の委員にも事前に情報提供してくれると、協力できることがあると思う。

議題(4)について

事務局の説明に対し、下記の質問があった。

○香川大学にも、ボン独日協会の会長と理事が訪問し、大学の案内や活動の紹介をした。来年に向けて、香川大学もボン大学との交流を前向きに考えている。高松市とボン市はどうか。

●ボン市長は来高したことがないので、まずはそこからである。ボン市とは文化芸術などの方面で交流できればと考えている。

【その他意見交換】

○事業全体をみて、相手国の人の参加が少ない印象がある。在日の大使館や領事館の方は、地方を周りたいというニーズがあるので、大使や領事を事業にお呼びしてもよいと思う。

○外国の方が来た時に、子どもと交流できる場があればよいと思う。

○ボランティアに積極的に参加したいが、うまく場所を見つけることができない。きっかけとして、情報提供をもっとして欲しい。

○高松市と縁のある外国の料理を学校給食の献立に取り入れる取組は、1年に1回でもいいので、続けていけばよいと思う。

○市役所1階の女性のお手洗いには、洋式トイレが1つしかなかった。外国人が増加している中、市が率先して設備を新しくしていく必要があるのではないか。

※ ○委員 ●事務局